

令和6年度予算案における事務事業の見直し(事業費等節減分)について

区分	番号	主管課	事務事業名	見直しの 方向性	見直し内容等	R 5 年度 予算額 (千円)	R 6 年度 予算額 (千円)	事業費 予算 節減額 (千円)
令和5 年度に 評価を 実施した 事業	1	企画調整課	地域生活環境指標	再編	長期計画や調整計画の策定に合わせて4年ごとに冊子を編集・発行してきた地域生活環境指標について、最新の各指標を地図データに反映し毎年整備する仕組みを導入するとともに、データを公開し全市的な活用を図る。	2,462	0	2,462
	2	秘書広報課	市公式Instagramの運用	業務改善・効率化	写真による情報発信の特長を生かし、他課との連携による活用を検討する。	-	-	
	3	秘書広報課	新聞における著作権使用契約	業務改善・効率化	著作権使用契約について、電磁的複製(PDFでの共有)が可能な契約に変更する。	-	-	
	4	総務課	庁内電話問い合わせ対応	業務改善・効率化	庁内からの問い合わせに効率的に対応するため、オンライン問い合わせ窓口のよくある質問事例等を充実させる。	-	-	
	5	人事課	職員研修の周知・参加申込	業務改善・効率化	研修の周知、申込において電子申請システム(LoGoフォーム)・事務連絡フォルダ・ポータルキャビネット等を積極的に活用する。	-	-	
	6	管財課	被服貸与事務	業務改善・効率化	武蔵野市職員被服貸与規程について、昨今の状況に合わせて貸与品を精査し、わかりやすい規程に改正する。	-	-	
	7	市民税課	税証明等交付事務	業務改善・効率化	P O S レジ、自動釣銭機、キャッシュレスサービスを導入する。	-	-	
	8	産業振興課	商店会活性出店支援金事業	再編	恒常的な制度への再構築を行うため支援金の見直しを行う。見直しにあたっては、創業支援強化の視点を持つ。	74,476	63,128	11,348
	9	多文化共生・交流課	職員名札の表記	業務改善・効率化	外国人市民の利便性向上のため、名札へのローマ字表記を検討する。	-	-	
	10	多文化共生・交流課	外国人市民への市政情報の提供	業務改善・効率化	市政情報を発信する際に、正確に翻訳されるようにするための工夫点を研究し、職員に周知する。	-	-	
	11	ごみ総合対策課	ごみ便利帳	業務改善・効率化	実績値を参考に、作成する数量の見直しを行う。あわせて、武蔵野市公式LINEのごみ分別の周知に関する機能の活用により、紙での配布以外のごみ分別に関する周知に取組む。	-	-	
	12	ごみ総合対策課	リユース掲示板むさしのエコポ	業務改善・効率化	電子申請の導入を検討し、利用促進を図る。	-	-	
	13	ごみ総合対策課	ごみ回収業務	業務改善・効率化	ごみ回収業務の委託業者との連絡共有を電子化し、業務の効率化を図る。	-	-	
	14	緑のまち推進課	公園内の樹木管理	業務改善・効率化	公園内高木や街路樹などを計画的に基本剪定をすることにより、樹高を抑え、事故や被害の軽減を図る。	-	-	
	15	緑のまち推進課	公園現地確認	業務改善・効率化	公用スマートフォンのアプリ(LINE、ZOOM)の活用により、現場からリアルタイムで情報共有を行い、業務の効率化を図る。	-	-	
	16	生活福祉課	被保護者就労支援事業	再編	被保護者就労支援事業は就労支援員による直営からノウハウのある事業者への業務委託へ切り替え、就労準備支援事業との相互連携を深め、効果的な運用を行う。	3,980	0	3,980
	17	子ども子育て支援課	ケース記録入力	業務改善・効率化	外出先で記録する際に電子申請システム(LoGoフォーム)を活用し、メモを紛失するリスクに対応するとともに、記録入力の業務を効率的に行う。	-	-	

令和6年度予算案における事務事業の見直し(事業費等節減分)について

区分	番号	主管課	事務事業名	見直しの方向性	見直し内容等	R 5 年度 予算額 (千円)	R 6 年度 予算額 (千円)	事業費 予算 節減額 (千円)
令和5年度に評価を実施した事業	18	子ども育成課	民間保育所運営費(市加算)	再編	待機児童ゼロを継続していることから待機児解消対策費加算相当額を、引き続き需要のある1歳児定員の拡充や、年度途中における入所児童の受入体制等の環境整備に対する支援に振替える。	5,680	0	5,680
	19	児童青少年課	学童クラブ延長育成利用の通知	業務改善・効率化	システム改修により、延長育成を日単位で利用する保護者への通知の効率化を図る。	-	-	
	20	交通企画課	道路その他構造物等の新設改良工事などの設計及び監督	業務改善・効率化	全ての整備路線の難易度や業務量を把握し、短期事業化路線計画を策定する。これにより工事監督及び現場調整等を計画的に進める。	-	-	
	21	道路管理課	道路に関する要望受付	業務改善・効率化	紙決裁から電子決裁に変更することで、検索性が向上し業務の効率化を図るとともに、紙資源の削減を行う。	-	-	
重点評価対象事業	22	企画調整課	事務事業見直し		リスクマネジメントの視点、自治体DXの推進といった視点も組み込み事務事業見直しの効果を高める。現状のブレインストーミングの質は維持しつつ、令和6年度からは提出様式の記載内容を精査することで、各課・係における負担低減を図る。ボトムアップ型のブレインストーミングを基本とした手法を維持しながら、事務事業見直しの効果を高める手法を検討する。	-	-	
	23	市民活動推進課	市政アンケート		市政アンケートと市民意識調査を隔年で交互に実施しており、それぞれ同様の事業目的で、実施手法を変えて実施しているため、市民意識調査の実施手法等の拡充も含め、市政アンケートのあり方を再考する。デジタル技術の活用による調査頻度や調査対象の拡充等、両者の利点を組み合わせた手法を検討し、令和7年度より新たな方式で実施を検討する。	-	-	
効果を検証した事業	24	総務課	都庁交換便	業務改善・効率化	令和3年度の事務事業見直しを踏まえ、令和4年度には他自治体アンケートを実施し、令和5年度にかけて都庁交換便の回数を減らすことや、近隣市との共同運行などの検討に着手したが、直近の年度で行うことは難しいと結論づけた。 また、庁内で都庁交換便を適正に使用できるよう、利用におけるルールを定めることとし、令和5年3月に「都庁交換便の手引き」を策定し、都庁交換便にて送付する必要がある重要文書や個人情報記載文書については、部署ごとに「重要文書等送付記録簿」を作成すること等を手引きにおいて定めた。	-	-	

※1 令和6年度予算案に影響がないものについては、「R6年度予算額(千円)」の欄を「-」としています。

※2 令和5年度に実施のなかった事務事業については、直近の年度の予算額を「令和5年度予算額」の欄に記載しています。

※3 番号1については、直近の令和4年度当初予算は9,845,000円であり、発行は4年に1度であるため、その1/4の金額を節減額としました。

事業費等予算節減額 総計(千円)

23,470